

◆ Vol.32 (4月号) いよいよ春本番！！ずいぶん暖かい日が多くなってきましたね。◆



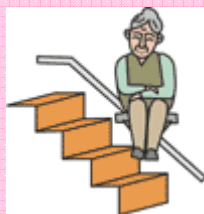
3月2日(日曜日)桃の節句の前日に日本舞踊『美月流』の子ども達による踊りを観ました。

ユニットの目標！！

～にじのまち3丁目～

《小まめに掃除・整理整頓！！》

今月のにじのまち3丁目のユニット目標は、掃除や整理整頓の徹底です。ご利用者様に、毎日、気持ち良く過ごして頂く為にも、小まめに、掃除・整理整頓をしていこうという、試みです。上記を行うことにより、快適に過ごして頂くだけでなく、職員の働きやすい環境をつくる事にも繋がります。



消防訓練の報告

3月3日にリバプールにて消防訓練が行われました。

大津市消防局の指導のもと、今回は地元との連携を図る目的で、大津市消防団大石分団の方々（7名）にもご参加いただきました。

大石分団の方々には警報機が発報後、入居者様の避難誘導にあたっていただきました。

また、避難訓練の後には水消火器を使っての消火訓練も行いました。



3月のできごと

3/2 美月流 日本舞踊



9月にも来ていただきました、日本舞踊『美月流』のちびっ子たちが「おひな祭りの前にぜひ、入居者様に観てもらいたい踊りがある」ということで、桃の節句の前日になる3月2日にこられました。

この日は、びわ湖毎日マラソンが行われていた日ですが、たくさん入居者様が地域交流スペースに集まれ、かわいらしい舞を堪能されました。



踊りの後は子どもたちより、入居者様皆様にお団子のプレゼントが……。一人ひとり手渡しされ、皆様とても喜んでおられました。

早速、ユニットに帰って美味しく頂きました。

3/5.10.19 各フロアー お鍋

今月は「味噌なべ」！！



冬の期間のイベントとしてお食事に『お鍋』を月1回ご準備しました。今月で3回目となりましたが、寒いこの季節にはピッタリのイベントに「またしてや！！」との声も多く、皆様、美味しそうに食べられていました。

普段とは違った雰囲気でのお食事は好評でいつも以上に食べられる入居者様も多く来年の冬も・・・今から楽しみです！！

3/28 たこやきパーティー ゆめのまち



入居者様にも野菜を切ったり、焼きそばを焼いたり、お手伝いいただきました。

ショートステイ・デイサービスのご利用者様、ゆめのまち3丁目の入居者様合同で、「たこやき」「お好み焼き」「焼きそば」をみんなで頂きました。

ご利用者様の中には「こんなことするのは初めて!!」と喜んでいる方や、職員よりうまくとこ焼きを回されるなど、皆様、とても楽しそうに食べておられました。



3/27 リバプール喫茶



毎月第4木曜に行っている「リバプール喫茶」。今月も『ギターと歌』を楽しみながら、コーヒー・手作りプリンをいただきました。



徳川家康 伊賀越えの道（宇治田原山口城跡）

歴史探訪 26

天正10(1582)年6月2日、京都の本能寺に宿泊していた織田信長は、天下統一を目前にしながも家臣の明智光秀に襲われ49歳でその生涯を閉じた。ちょうどそのころ、信長の同盟者である徳川家康は信長の招きで上洛し、堺に逗留していた。当日信長に礼を述べるために京へ向かっていた一行は、河内飯盛山付近で駆けつけた茶屋四郎次郎から知らせを聞いた。

一行は飯盛山から枚方尊延寺を経て興戸に入り、木津川を渡った。家康の案内人として同行していた長谷川秀一は近隣の味方する者へ使者を送り、そのうち宇治田原の山口城主、山口甚介秀康は新主膳正末景と市野辺出雲守を迎えに行かせた。

山口城主、山口甚介秀康は甲賀五十三家の実力者、多羅尾光俊の六男で山口氏の養子となった。甚介は信長の命により、郷之口に山口城(実際には平地に築いた城館か)を築城し、城下町を形成したという。

家康伊賀越えの行程などについては様々な説があるので、現時点では特定できませんが、山口城をたった家康一行は、奥山田の遍照院に入り、裏白峠を越えて信楽へ入り、多羅尾氏の小川城で一泊してから伊勢の白子浜から海に出て岡崎へと帰還したとされています。

歴史の好きな方なら知っている「家康の伊賀越え」がここ大石近くの宇治田原・信楽で起こっていたのかと思うとワクワクしました。

山口城跡 →



お天気のいい午後、暖かくなってきたこともあり久々に『ゆめのまち』の皆様で近くを散歩しました。近くの公園を散歩したのですが、そこになんと！！『ヤギ』2匹と遭遇し、皆様ビックリされていました。

おやつと、飲み物を持っての散歩だったので「気分転換になった」と喜んでおられました。



フキ介護講座

『ずっこけ座り』と『ズレのメカニズム』

前回の介護講座では、車椅子についてをお送りしましたが、今回は、座るということについて考えたいと思います。

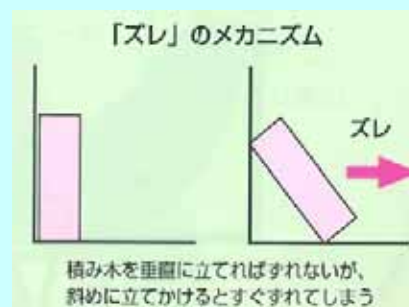
・『ずっこけ座りはとても辛い！』

ずっこけ座りとは、お尻が座面の奥につかず、背中を背もたれに押し付けるように座る座り方です。ずっこけ座りをするとズレのメカニズムが強く働き、(車)いすからずり落ちやすくなります。



・『ズレのメカニズムとその影響！』

ずっこけ座りでは背中が背もたれに寄りかかっているため、お尻には前にズレる力がかかります。しばらくその姿勢で座っているとお尻がひきつれて痛くなるので、通常は自分で姿勢を変えて、痛みから逃れようとします。しかし、お尻の位置を自分でずらすことはできても、後ろにずらすことが難しい場合は、どんどん前にずれてしまい、最後には(車)いすからずり落ちてしまうこととなります。



座り方ひとつで、体調の悪化や怪我につながる為、リバプールでも利用者様に正しく座っていただくよう、心がけていきたいと思ひます。

～スタッフ紹介コーナー～

大住 武司 (介護職員 にじのまち2丁目) 星座：おひつじ 血液型：A型

趣味：ドライブ・キャンプ・ジム・旅行・家族イベント・車いじり



今まで介護の仕事に携わってきましたが、リバプールは色々なイベントやリバプール農園での収穫など季節感を感じながら生活を送っていただけるよう、工夫している点に驚きました。なかでも『流しそうめん』にはびっくりしました。

これからの目標として、今まで以上に入居者様の笑顔を引き出せるように自己の向上に勤めていきたいと思ひます。